



笛が鳴ったら  
たすけて

米内山陽子

登場人物

阿佐月 (27)

和佳妓 (26)

羽芽 (25)

## ■ あらすじ

薬師寺家。

3人が高校生の時、父と母が離婚。母はその当時通っていた歯科医と駆け落ちをした。そのショックで長女は大学受験に失敗。次女は1週間家出をし、三女はひきこもった。そこから9年後の話。

三人とも結婚するでもなく、就職するでもなく、実家に寄生して生きていた。父は三人を溺愛していたので、幸せな日々を送っていた。ある日、別れた母から再婚の結婚式の招待状が届く。父は欠席。三人は出席。

その帰り、父に連れられて郊外のファミレスで夕食を済ませる。

そのまま母の結婚式のことを父に報告ののち、父は車で三人を置き去りにして去ってしまった。

駅までの道もわからない。三人合わせても1000円ない。

三人姉妹は、ファミレスで行き詰まっていく。

## ■ 「笛が鳴ったらたすけて」

\* 郊外のファミレス。

アサツキ… はい、オレンジ。

ウメ… あ、あたし。

ワケギ… おねえちゃんあたしコーヒーおかわり。

アサツキ… さつき言つてよ。自分でいきな。

ワケギ… しようがないじゃん今飲み終わっちゃったんだから。

アサツキ… 知らないよ。

ウメ… ワケちゃんあたしの飲む？

ワケギ… いい。オレンジって気分じゃない。

ウメ… ふうん。あ、アサちゃんのそれ何？

アサツキ… レモンアンバサソーダ。

ワケギ… なにそれ。

アサツキ… 自分でブレンドしたの。いいじゃんドリンクバーなんだから。

ウメ… 一口頂戴。

アサツキ… はい。

ワケギ… まずい？まずい？

アサツキ… おいしいから。

ウメ… おお。

ワケギ… まずい？

アサツキ… おいしいでしょ？

ウメ… 未知の味。体に悪そう。

ワケギ… 嘘ちよつと頂戴。

アサツキ… やだ。

ワケギ… なんでもよいじゃんけち。

アサツキ… すぐ人のもん欲しがるんだから。

ウメ… それどうやって作ったの？

アサツキ… アンバサとレモンスカッシュ。

ウメ… 分離しないの？それ。

アサツキ… 先にレモンスカッシュ入れて、アンバサをこうゆっくり入れるの。

ワケギ… びんぼくさ

アサツキ… うるさいな

ウメ… お母さんさ

ワケギ… なに急に

ウメ… いや、貧乏臭い料理作ってたよね、お母さん

ワケギ… あーあった。豚肉のすき焼き。

ウメ… あれおいしかったよね。あと、具なしカレー

ワケギ… あー、さらさらしてるやつだ。学校で言ったら笑われたけど

アサツキ… 寒天プリン

ウメ… あったあった！

ワケギ… なつかしー！

アサツキ… やめよ。

ワケギ… なんですよ

アサツキ… お父さん気にするし、やでしょ、そう言う話されんの

ウメ… そっか。

ワケギ… 気にしないでしょ。もう十年経つし。

アサツキ… ばっか！お父さん純情なんだから

ワケギ… 純情。

アサツキ… そろそろ戻ってくるだろうし。

ウメ… そだね。やめとこう。

\* 車の発進音。

アサツキ…あつ。

ワケギ…なによ。

ウメ…どうしたの？

アサツキ…今の……見た？

ワケギ…なに

アサツキ…車

ワケギ…くるまあ？ウメ見た？

ウメ…見てない。どしたのアサちゃん。

アサツキ…お父さんの、車だったと思うんだけど。

ウメ…え？

ワケギ…は？

アサツキ…や、そんなことはないと思うんだけど、でも、いや、

ワケギ…お父さんトイレでしょ。

ウメ…そーいや、長いね。

アサツキ… ちょっと見てくる。

\*アサツキ、去る。

ウメ… お父さんさあ

ワケギ… うん

ウメ… なんかかわいいそうだよね。

ワケギ… ああ。

ウメ… お母さんもさあ、いい年して結婚式とかやるかな

ワケギ… そーだねえ

ウメ… お父さんさあ、そんなん呼ばれても行くわけないじゃんねえ。

ワケギ… ー。

ウメ… お母さんってやっぱり自分のことしか考えてない人なんだね。

ワケギ… 別れる前さあ

ウメ… え？

ワケギ… いや、お父さんとお母さんがさ、まだ別れる前。

ウメ… ああ、うん。



ワケギ…将来結婚したらあんな夫婦になるんだって思ったもんな。わたし。まあ、結婚してないけど。

ウメ…できないわけだけど。

ワケギ…うるさいな。

ウメ…仲良かったよね。

ワケギ…うん。良かったと思う。

ウメ…びっくりしたよね。

ワケギ…うん。あ、アハハ。

ウメ…なに？

ワケギ…いや、お姉ちゃんがさ、すつげえショック受けてたじゃん

ウメ…あたしもショックだったよお

ワケギ…や、そりやあたしもショックだったけどさ、お姉ちゃんショックすぎて訳わかんなくなってたじゃん。

ウメ…え、なにになに？

ワケギ…ほら、あれだよ。

ウメ…あれえ？

ワケギ…あれ。

ウメ… あれって？

ワケギ… あんた憶えてないの？

ウメ… や、憶えてる、と思うけど、なんか、ほら、あたしもすっごい傷ついたじゃん。思春期じゃん。なんか、ほら、いいじゃん教えてよ。

ワケギ… 水ごりしてたじゃん。

ウメ… 水。え？

ワケギ… 水ごり。お風呂場でさ、バツシャー、バツシャーって。それで風邪ひいて、受験失敗してたじゃん。

ウメ… へえ。

ワケギ… へえって。

ウメ… ワケちゃんその話さあ。

ワケギ… うん。

ウメ… そんなに笑える話かなあ。

ワケギ… 笑えなくなった。

ウメ… あ、ごめん

ワケギ… いや、うん。笑える話じゃないよね。

ウメ…水ごりってあれでしょ、お百度参りみたいな。この子の病をーみたいなやつでしょ。  
ワケギ…うん。

ウメ…なにをお願いしたんだろ。

ワケギ……さあ。

ウメ…お母さんのことだよね、やつぱり。

ワケギ…そしたら無理だったね。水ごりの意味なし。

ウメ…はいダメー、みたいな。

ワケギ…ジ・エンドー的な

ウメ…あはははは、笑えない。

ワケギ…ご祝儀包むことなかったかね。

ウメ…中年ばっかだったね。

ワケギ…新婦も新郎も年だからね。

ウメ…金持ちそうだったね。旦那さん。

ワケギ…歯医者だもんね

ウメ…お母さんさあ、駆け落ちしたのも歯医者だったよね。あれと一緒に歯医者かなあ。

ワケギ…や、違うでしょうそれは。

ウメ… 歯医者好きだよね。

ワケギ… ね。なんか、いづらかったよね、式。

ウメ… よそ者ちっくだったよね

ワケギ… どういうつもりで呼んだんだろ。

ウメ… わっかんない。なんかむかつくよね。

ワケギ… 幸せそうな顔してさ。

ウメ… やっぱさあ、お母さんは私らとお父さんを捨てた人なんだよね。

ワケギ… うん。…むかつくね。

\* アサツキ駆け込んでくる。

アサツキ… ちよつと。

ウメ… あ、おかえりー

ワケギ… あ、お姉ちゃん立ってるついでにコーヒー

アサツキ… 何のんきにのんびりしてるの！

ワケギ… え、うそ

ウメ… え、なに？

アサツキ…ちよ、ワケギ、ケータイ

ワケギ…ああ

ウメ…え、なにになんだっけ？

ワケギ…はい。(渡す)

アサツキ…違う！かけて！

ワケギ…ええ？

アサツキ…お父さんに！

\*ワケギ、携帯をかける。

ウメ…お父さん？トイレじゃないの？

アサツキ…駐車場に車ないのよ！

ウメ…うそ！

\*ウメ、去る。

ワケギ…お姉ちゃん、お父さん電源切ってる。

アサツキ…うそお

ワケギ…あ、おとうさん？ワケだよ。なんで帰るの？電話して！じゃあね。(切る)

アサツキ…どうしよう……。

ワケギ…なんで…:…なんでお父さん帰っちゃったの？

アサツキ…知らないよそんなの

ワケギ…なんか無神経なこといったんじゃないの？

アサツキ…そんなこというならワケギでしょ！

ワケギ…なんであたしなのよ

アサツキ…だってあんた、あんたいつとも無神経じゃない！脱いだ靴下そのままだし、部屋だって足の踏

み場ないし！

ワケギ…そんな今関係ないじゃん

アサツキ…あんたは大体いつつもそうだって話をしてんの。

ワケギ…そんなこというならお姉ちゃんだって無神経でしょ？自分できい使ってるつもりで結局こっちが

イヤな気分になることだってあるんだからね！

アサツキ…なんのことよ！具体的に言ってみなさいよ！

ワケギ…口癖じゃない「なんとかしてやってあげてるのよ」って。こっちは頼んでないっつうの。「あー

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

### 笛が鳴ったらたすけて（おためしサンプル）

---

2011年12月16日 初版発行  
2011年12月16日 改訂（ver.2.000）

著 者 米内山陽子 © 2011年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-49-2903

---